

2023年(R5)11月4日(土)にEISU みらい塾で第2回特設行事を開催しました。

今年度は、お隣の並木学院福山高等学校の文化祭である「並福祭」に「みらい塾」として参加しました。親子合わせて33名の方にご参加いただき、「並福祭」を盛り上げるのに一役買うことができたのでは…。並木学院福山高校とは日頃から連携し、子どもたちが様々な体験ができるようにしています。日々の並木学院高校の体育室を使っでの活動では本格的な卓球を始めとして、ボール投げやなわとびなどができます。出会った先生方から声をかけてもらい、大人の人との接し方を学ぶこともあります。また、今年は4月～9月の間、並木福山高の生徒をボランティアとして受け入れ、勉強を教えてもらったり、一緒に鬼ごっこやカードゲームをしてもらったりしました。



オープニングは参加者全員
で風船を飛ばしました!!



バザー
色々な掘り出し物が

○開会式

みんな色々な食べ物を食べました。
うどん、焼き鳥、ポテトフライ
など…



○バザー

粘土のリンゴの作品が
すごかった



○模擬店

みらい塾から参加した子
どもが1番初めにビンゴにな
りました!



○高校生の書道・美術作品の展示

文字あてゲームの景品が
当たりました。



○ビンゴ大会

○閉会式

並福祭では、食べ物を販売する模擬店やビンゴゲーム、文字探しといったイベントを高校生が創り上げ、接客やゲーム進行も高校生が行っていました。力強い書道の作品やよしたけしんすけ氏の「りんごかもしれない」をモチーフにした紙粘土作品の展示には発想のすばらしさに脱帽しました。見学していた子どもたちは「私も作ってみたい!」と言っていました。作品を見て心が動かされたのですね。これこそ「感動」ではないかと思います。

普段は見ることのない、高校生の頑張る姿や素敵な作品に触れ、何かを感じてくれたのではないかと思います。

閉会式では授賞式があり、模擬店の部ではうどんを販売する「うどん屋門兵衛」が校長賞でした。あつたかいうどんは文化祭では定番の人気食ですね。

参加されたみなさんは、いっぱい食べたり、ゲームやクイズに参加したりと楽しい時間を過ごすことができましたようです。

毎年恒例の「文字探し」。教室や階段などにある文字をうまく並び替えて言葉を作ります。それを応募箱に入れておくと、正解者の中から抽選で景品が当たります。今年は、

す き く で に ひ

の6文字でした。

さあ、どんな言葉ができるでしょう？